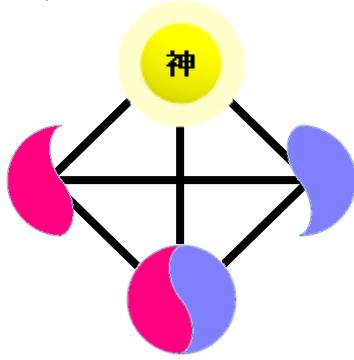


I. 四位基台について



4数の根本
3数の根本
三段階原則の根本
12数の根本

設計図

神の姿

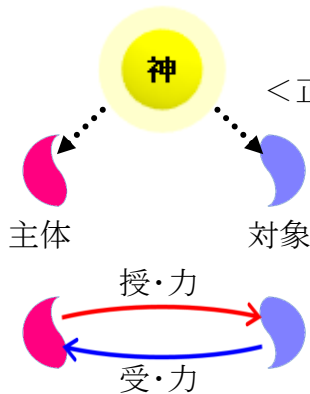
創造目的を完成した善の根本的基台

・神が運行なさることのできる存在とそれらが存在するための力の根本的基台

四位基台は神の永遠なる創造目的

II. 四位基台の存在様相

円形または球形運動をなして立体として存在



<正分合作用により神の二性性相が、各々その実体対象に分立>

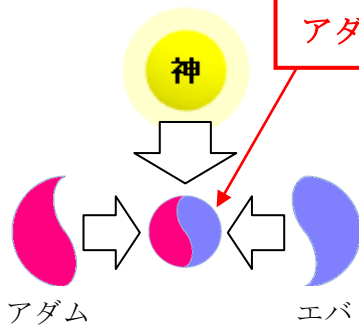
対象が主体に対応して相対基準を造成すれば、

対象は主体を中心として、(互いに)

授ける力(遠心力)と受ける力(求心力)により授受作用



III. 本心の中心



アダムとエバが完成した夫婦として一体を成したそのところ

=愛の主体であられる神と美の対象である人間が一体化し、
創造目的を完成した善の中心

・父母なる神は子女として完成した人間に臨在なさり
永遠に安息；永遠に刺激的な喜び

・神のみ言が実体に = 真理の中心

⇒ 全ての人間をして創造目的を指向するよう導く
本心の中心

IV. 神の遍在性

p 62 神は一切の被造物の中に遍在されるようになる。

韓国語：하나님은 一切(일절)의 被造物(피조물) 가운데 遍在(편재)하시게 되는 것이다.